

## 普及活動情勢報告（平成27年11月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

### 情勢報告

#### 環境測定装置を栽培管理の改善に生かそう！・・・第1回環境測定装置勉強会を開催・・・



11月17日、黒潮町と土佐清水市において、本年度事業を利用して環境測定装置を導入した生産者を対象に、メーカー担当及びJA指導員と連携し、環境測定装置の活用方法について勉強会を開催しました。

勉強会では、環境測定装置の使用にあたっての疑問点「測定装置のセンサーの補正方法は？グラフの見方は？操作方法の復習をしてもらいたい」等々を引き出し、一つ一つ答えて疑問を解消してもらいました。

現状では、環境測定装置のデータをモニタリングし、データを収集・加工・活用までできる農家が少ないため、今後、農業改良普及課では、メーカー毎の個別指導と併せて集団指導を行い、栽培管理の改善に生かすことができるよう支援していきます。

#### 炭酸ガス施用でキュウリ増収・・・促成きゅうり勉強会（環境制御）を開催・・・



11月6日に黒潮町の現地で施設キュウリの勉強会を行いました。参加者は5名でした。

環境測定装置や炭酸ガス施用装置を導入した4戸の生産者の生育調査の報告、オランダ型温度管理、環境制御技術の基礎等について情報提供し、温湿度管理等の意見交換を行いました。参加者からは、「炭酸ガスを今施用し始めてよいか」、「佐賀県のキュウリほ場を見てきたが、飽差に注意して管理しており、暑い時期にサイドを閉めていてもハウス内の温湿度が快適で驚いた」といった声が聞かれ、活発な情報交換となりました。

農業改良普及課では、今後もキュウリ増収に向けて炭酸ガス施用及び品種試験、勉強会の活動支援等を行います。

#### 集落営農ってどんなもの？・・・宿毛市集落営農研修会を開催・・・



11月6日、宿毛市で集落営農の取り組みを促進するため、集落営農研修会を開催しました。

宿毛市の農業の現状を知ってもらうとともに、集落営農に取り組む目的や地域に合わせた様々な活動事例を農業改良普及課から紹介しました。参加者からは「集落営農にも色々な形態があって奥が深い」という声が聞かれました。

農業改良普及課は、地域に沿った持続的な農業が行われるように今後も集落営農の取り組みを支援します。

### 農業にもっと興味をもてるように・・・幡多農校で出前授業・・・



11月16日、高知県立幡多農業高等学校で、アグリサイエンス科の2年生30名を対象に農地・担い手対策課と合同で出前授業を行いました。

農業改良普及課からは、管内の主要品目や担い手の状況、環境制御技術やIPM技術といった最近の農業の動きについて、農地・担い手対策課からは、新規就農者にかかる支援策等について授業を行いました。生徒には、聞き慣れない言葉の説明もあり、少し難しい内容でしたが、熱心に聞いてくれました。

### 西土佐のおいしい農産物を作ろう・・・ミニハウスを利用した野菜栽培指導・・・



11月13日、四万十市西土佐地域で、ミニハウスを利用した野菜栽培の現地指導を行いました。現地指導の中では、「土作りにどんな堆肥が必要か」、「できるだけ殺虫剤を使用したくないが、何か方法はあるか」、「ハウスを利用し、どんな野菜を植えつけたら良いか」等、様々な質問がありました。

農業改良普及課では、野菜の現地巡回指導及び栽培講習会、果樹の剪定講習会等において、平成28年4月開設予定の道の駅「よって西土佐」へ出品する農産物の生産振興を支援していきます。

### 来年こそは、いいユズをつくるぞ！・・・JA西土佐支所黄玉目慣らし会・・・



10月29日、JA高知はた西土佐支所において黄玉ユズの目慣らし会が行われました。今年は後期の黒点病と、表年に加え、10月に入ってから異常乾燥で小玉傾向が目立つため、平箱・冬至・小袋規格について入念な目慣らしが行われました。

農業改良普及課からは、腐敗事故対策として、今後の天候に合わせた収穫後の果実管理や、葉面散布を含めた施肥及び樹勢に応じた機械油乳剤の散布時期等を指導しました。

### 消費地の声を作りに生かすために・・・JA高知はた花き取引懇談会・・・



11月6日、黒潮町大方南部地区において、JA高知はた花き部が取引市場との懇談会を行いました。

会議では、生産者から「消費地の厳しい声をバネにしたい」と発言があり、積極的な意見交換が行われました。選別に高い評価が得られる品目がある一方、品質や選別の問題が市場から指摘される品目もあり緊張感のある懇談会となりました。

農業改良普及課では、各品目において今後の産地としての方向性を話し合う場を設け、懇談会の結果も含めて議論を促していきます。

### 産地間交流できれいなミョウガ出荷を目指します…目慣らし会の実施…



冬採りミョウガの収穫盛期に向け、11月中旬、管内2つの産地で目慣らし会が開催されました。黒潮町大方で13日に、宿毛市で18日に開催された目慣らし会では、高品質な生産物の出荷を目指して目合わせを行った後、販売状況について情報を共有しました。宿毛での目慣らし会には、大方の生産者2名が参加しました。

参加者からは、「発色や花蕾のしまりに注意して選別しよう」「花が残らないよう注意」「切り口をキレイに保つため、ハサミにも気をつけよう」といった声が挙がり、活発な情報交換になりました。

今後も、幡多管内の品質統一を図るために、合同の目慣らし会を実施する予定です。

### 収量・品質の向上を目指して…幡多地区ミョウガ生産者交流会の実施…



11月18日、宿毛市でミョウガ生産者交流会が開催されました。宿毛市、黒潮町、四万十市の生産者16名が参加し、高収量農家のほ場を視察し、生育や収穫状況を確認しました。

その後の講習会では、農業改良普及課から厳寒期に向けての保温対策や、生産者それぞれの生育状況や栽培管理、炭酸ガス施用試験の状況について紹介しました。参加者からは、「高収量農家の機姿を見て刺激を受けた」「ハウス内の環境にも興味が出てきた」等の声が挙がりました。

農業改良普及課では、今後も省エネ対策や炭酸ガス施用試験について、勉強会などを行っていきます。

### 現状把握をしっかりと次に繋げよう…農家レストランしゃえんじり…



10月21日、西土佐口屋内にある農家レストランしゃえんじりで、今年度の上半期の状況報告や料金の見直し、視察研修の受け入れ等について協議しました。この日は全員が参加し、売上に占める賃金や食材の割合、接客（おもてなし）について様々な意見がありました。また「後継者の課題も含め、農家レストランを運営していく上での課題もたくさんあるが、支援もいただきながら頑張っていきたい」という声が挙がりました。

農業改良普及課では、今後も組織活動の取り組みを支援します。

## 子ども達に農業を知ってもらいたい！・・・宿毛4Hクラブ出張畑作り・・・



11月11日、咸陽保育園において、宿毛4Hクラブは出張畑作りを行いました。今年度から新たに始めたこの活動では、クラブ員の6人が講師となり、土作りの大切さや畝の立て方を子ども達に教えました。子ども達からは、「（豚糞堆肥が）臭かった」「機械が動いているのが見えて面白かった」等の声が挙がりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、4Hクラブの活動を支援していきます。